



“夜勤改善・大幅増員を”精神部会・JR三鷹駅頭で白衣宣伝

-11月17日-



11月17日 三鷹駅前



精神部会では、11月17日(土)午前、JR三鷹駅前白衣宣伝署名行動を実施。4組合1分会14名が参加しました。途中からの小雨も、雨の降りこまない場所に移動するなど、工夫しながら精神医療の実態や、職場の状況を知らせつつ、「看護師を増やして」と訴え、1時間で、88筆を集めました。



11月15日 日比谷野外音楽堂 司会を務める↑清水明子看護闘争事務局長

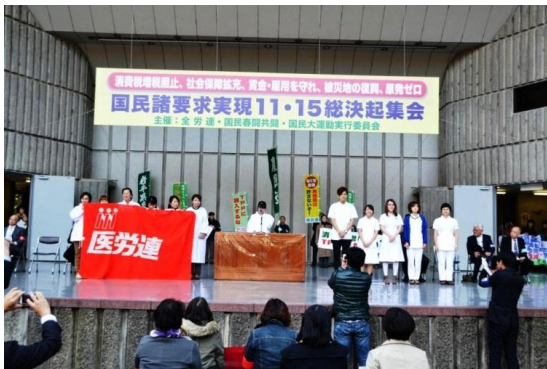


全労連11・15中央行動に参加

東京医労連の各加盟組合は、全労連・国民春闘共闘などによる11・15中央行動に参加しました。

日本医労連は秋の中央行動に位置づけ、先立つ14日には、自治労連、全大教とともに、三単産合同の「5局長通知」の学習会を赤坂ツインタワー内会議室で開催。厚生労働省が発出した通知の意義とこれからの取り組みなどについて学習を深めました。全体264名、東京医労連から17名が参加しました。

衆議院解散直前の翌15



15日厚労省看護交渉→

日は、昼の日比谷野音でのコア集会、国民諸要求実現11・15総決起集会への参加を軸に、午後対政府交渉、国会議員要請に分かれて行動しました。

集会は全国から3千人の

参加で行われ、主催者から民自公の与野党談合で強行した消費税増税や、国民無視の原発再稼働、欠陥機オスプレイ配備強行など、今の政治に対する国民の怒りが衆議院を解散に追い込んだことを確信に、今度の選挙で国民の暮らしを守る国会をつくろう、と呼びかけられました。

その後、東京選出の衆参国会議員に請願署名の賛同を要請したほか、厚労省、文科省などの対省庁交渉に計30名が参加し「夜勤改善・大幅増員」を求めて終日、霞が関周辺で行動を展開しました。